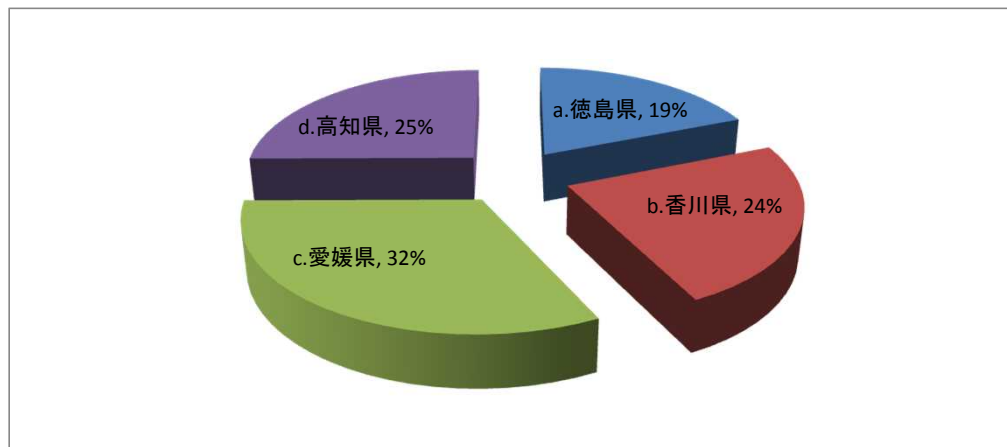


◇平成29年度医療安全に関するワークショップ集計結果◇

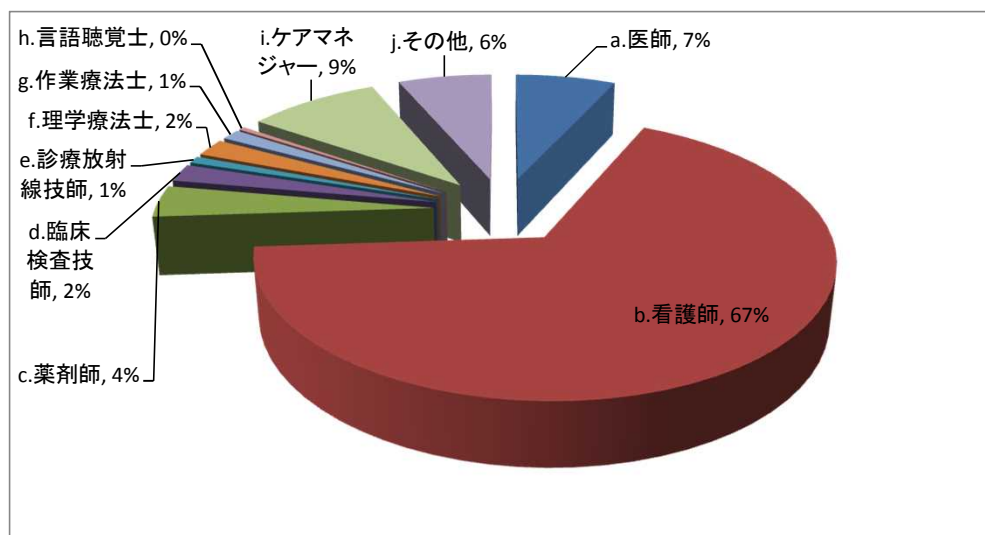
開催年月日:平成29年12月6日(水)
場所:サンポートホール高松(香川県高松市)
受講者:276名
回収枚数:227枚(回収率:約82.2%)

1. 勤務先の県名について



選択肢	回答数	構成比
a.徳島県	43	19%
b.香川県	54	24%
c.愛媛県	73	32%
d.高知県	57	25%
計	227	100%

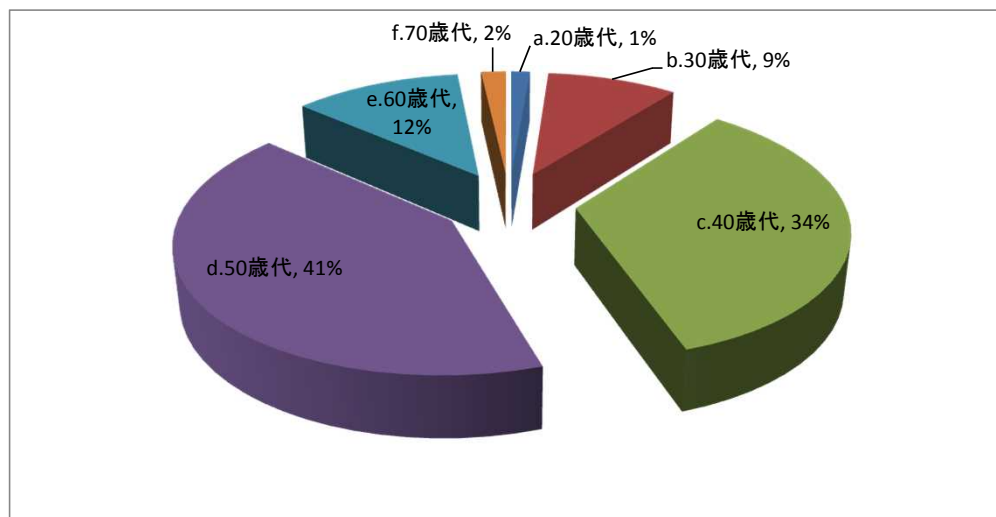
2. 職種について



選択肢	回答数	構成比
a.医師	16	7%
b.看護師	157	67%
c.薬剤師	9	4%
d.臨床検査技師	5	2%
e.診療放射線技師	2	1%
f.理学療法士	5	2%
g.作業療法士	3	1%
h.言語聴覚士	1	0%
i.ケアマネジャー	21	9%
j.その他	15	6%
計	234	100%

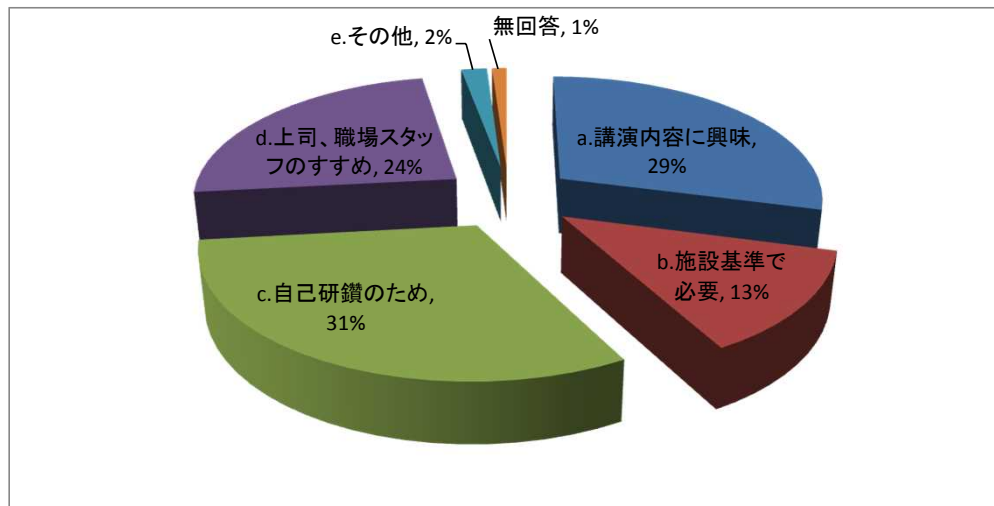
※徳島県、愛媛県については、複数回答している者いるため、回答者数と一致しない。

3. 年齢について



選択肢	回答数	構成比
a.20歳代	3	1%
b.30歳代	21	9%
c.40歳代	78	34%
d.50歳代	94	41%
e.60歳代	27	12%
f.70歳代	4	2%
計	227	100%

4. 参加の動機について(複数回答)



選択肢	回答数	構成比
a.講演内容に興味	110	29%
b.施設基準で必要	49	13%
c.自己研鑽のため	118	31%
d.上司、職場スタッフのすすめ	90	24%
e.その他	7	2%
無回答	4	1%
計	378	100%

5. 講演内容について

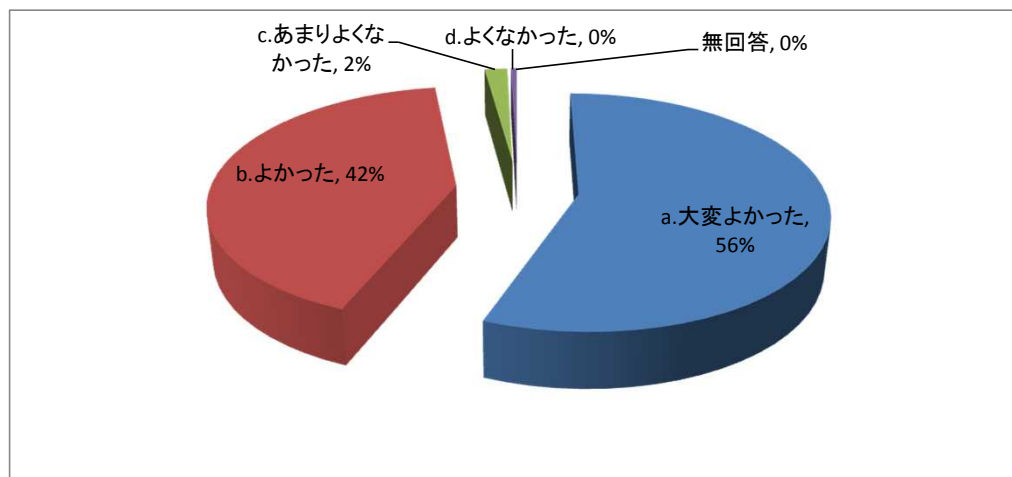
1) 講演①「医療安全に関する院内研修の企画・運営」

講師：九州大学大学院医学研究院

医療経営管理学講座 准教授

九州大学病院 病院長補佐

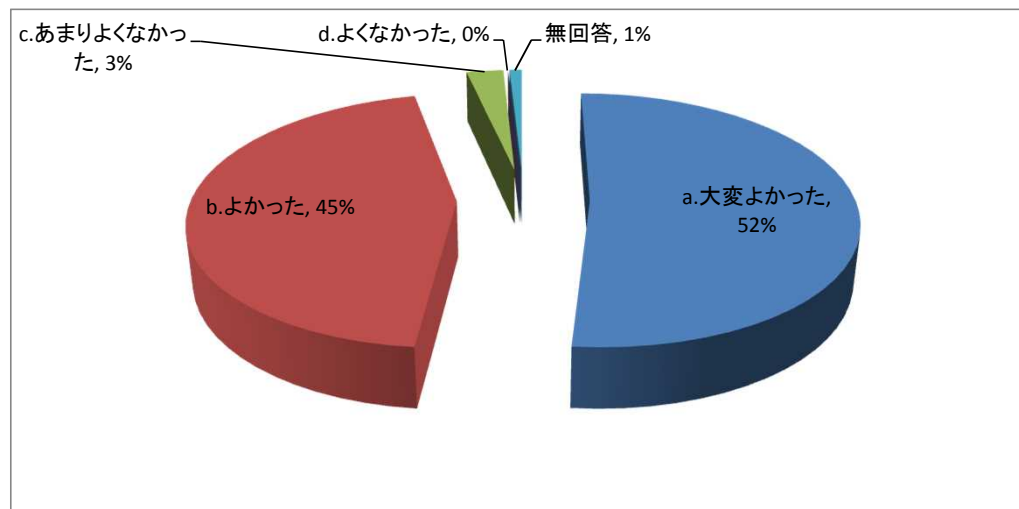
鮎澤 純子 先生



選択肢	回答数	構成比
a.大変よかった	127	56%
b.よかった	95	42%
c.あまりよくなかった	4	2%
d.よくなかった	1	0%
無回答	0	0%
計	227	100%

2) 講演②「患者・患者家族の視点から期待する医療安全について～現場での体験を踏まえて～」

講師：阪南中央病院
患者情報室「とまり木」
相談員 北田 淳子 先生



選択肢	回答数	構成比
a.大変よかった	117	52%
b.よかった	102	45%
c.あまりよくなかった	6	3%
d.よくなかった	0	0%
無回答	2	1%
計	227	100%

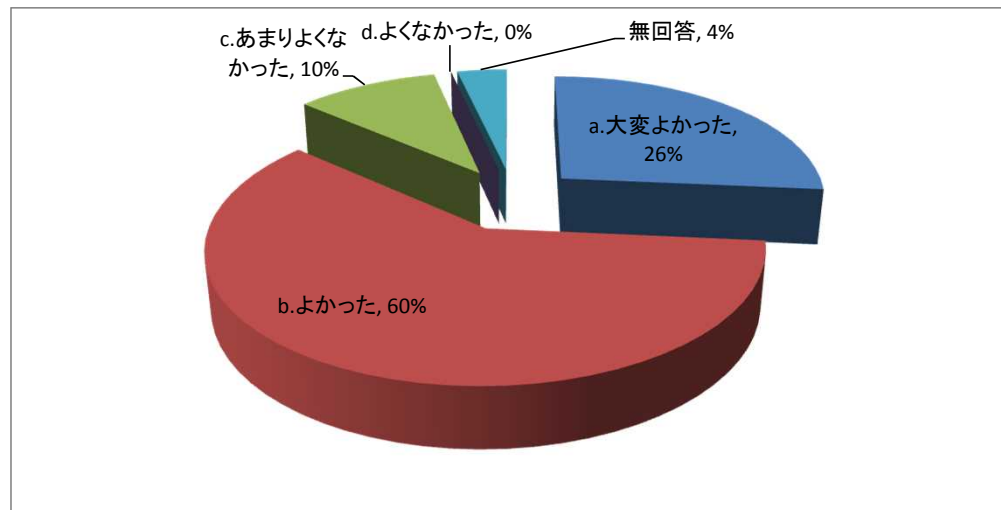
3) 講演③「多職種協働における医療安全とリスクコミュニケーション」

講師: 近畿厚生局 健康福祉部

地域包括ケア推進課 上席地域包括ケア推進官

医事課 臨床研修審査専門官

河本 慶子 先生

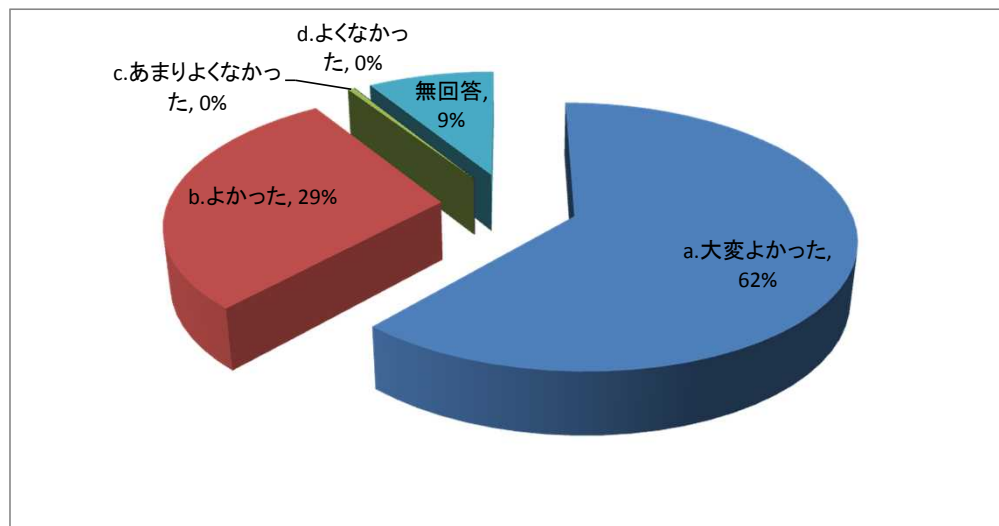


選択肢	回答数	構成比
a.大変よかった	60	26%
b.よかった	136	60%
c.あまりよくなかった	23	10%
d.よくなかった	0	0%
無回答	8	4%
計	227	100%

4) 講演④「地域・在宅医療と医療安全」

講師: オレンジホームケアクリニック

代表 紅谷 浩之 先生



選択肢	回答数	構成比
a. 大変よかった	140	62%
b. よかった	66	29%
c. あまりよくなかった	1	0%
d. よくなかった	0	0%
無回答	20	9%
計	227	100%

6. ワークショップについてのご意見、ご感想、お気づきの点

1. 講演④について大変興味深い話でした。お話の中にもありましたが、色々な活動を広げていくにつれて、ずれない考え方が大切だと思った。
2. 休憩時間が短い。トイレなどの混雑を考慮すれば20分程度欲しい。
3. 病院勤務の自分にとって講演④の紅谷先生のお話はとても感動しました。思わず紅谷先生の元で働きたいと思いました。そして、自分や自分の家族が病気になったとき紅谷先生に診てもらいたいと思いました。
4. 地域包括ケア、ケアミックス、患者家族の視点等の新知識を得たこと、考えを変えられると思ったことで大変良い一日でした。
5. 医療事故当事者から率直なお話を伺い、医療関係者(管理者)として医療安全にしっかり取り組まなければならないと感じました。
6. 現場のリアルな話を聞かせて頂いて、難しい資料を見るよりも知見を深めることができました。医療安全の基本となるコミュニケーションに役立つ精神面でもとても良い経験となりました。本当にありがとうございました。
7. 会場が暗すぎて、資料が見えづらく、メモも苦労した。
8. 1コマでも参加型が入れば、集中しやすいのでは。
9. 座席の間隔が狭くしんどかった。夏か秋に開催して欲しい。
10. 講演①の講師の方が指摘されていたように、医療安全に対する考え方の違いが院内で医療安全を推進する上で大きな障害になっているように感じる。
11. 講演②で看護師の立場もよくわかるし、家族の立場もよくわかった。何気なく話しかける言葉が相手を傷付けるとは思わなかった。これからは言葉かけにも気をつけたいと思った。
12. 今後も体験談の講演をしてほしい。
13. 院内研修の企画・運営についてもっと具体的に何を進めていくか知りたかった。
14. 北田先生と紅谷先生の話はもっと多くのスタッフに聞いてもらいたいと思いました。
15. 少くくらいお金を出しても希望した人が参加できるようにしてほしい。
16. 自分の中で理解しているはずの地域包括ケアやリスクマネジメントについてより詳しく、具体的なものとして、再認識することができた。
17. 医療だけではその人の人生を支えることができないため、福祉との連携が必要だと感じました。
18. もう少し、福祉分野の役割を認めて頂ければうれしいです。これだけ連携とって久しいのですから、同じ目線で話して欲しい。
19. 医療安全というテーマは在宅にはあまり関係が無いのかなと思いましたが、非常に参考になる貴重なお話を聞くことができました。
20. 院内研修で毎年企画に困っていました。来年度は伝え方のポイント実践してみます。
21. 医療が在宅で提供されることも多くなった今、地域全体の安全管理体制の構築が必要なことは感じています。医療と介護の壁、本当に感じています。自分たちの意識を変えないといけないと思います。
22. 意見を伝えてもなかなか変わらない現実に心折れそうになりますが、まず自分たちの伝え方が違うのではないかと、工夫してあきらめないで伝えていきたい。